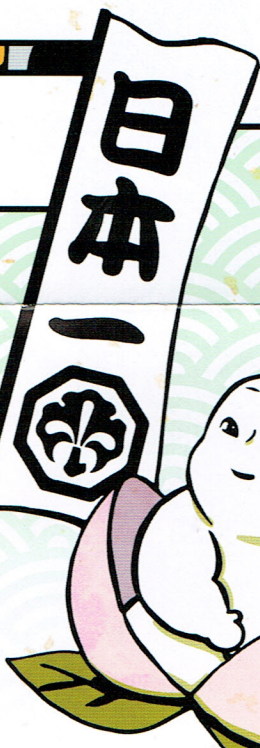


三人桃太郎記念

田んぼアート



十八代目中村勘三郎の魂を継ぐ二人の孫の初舞台を記念して行われるアートプロジェクト!

(5月29日 田植え) ※雨天決行

(稲刈り予定)

平成28年 **6月15日~9月下旬**

長野県松本市大字島内上平瀬地区にて

営業時間: 9時~18時

展望台/観覧料: 1回/300円(中学生以下無料) ※団体割引有り

お問い合わせ: まつもと歌舞伎実行委員会(松本市文化スポーツ部文化振興課内) 0263-34-3293

田んぼアートのデザインは、六代目中村勘九郎の長男七緒八・次男哲之の初舞台を記念いたしまして、
中村屋の初舞台には欠かせない『門出二人桃太郎』と
十八代目中村勘三郎が大事にしてきた演目『春興鏡獅子』が描かれます。

主催/田んぼアート実行委員会、まつもと歌舞伎実行委員会

協賛/みずほ銀行、アサヒ飲料

協力/フジテレビジョン、トップシーン、サンライズプロモーション東京、松竹
企画/ファーンウッド、ファーンウッド 21

信州まつもとに寄せる十八代目中村勘三郎の思いを継いだ勘九郎、七之助。さらにいま勘九郎の二人の子供たちへとその思いは受け継がれる…。

歌舞伎という日本の伝統芸能を着実に後世に伝え続けていく中村屋。来年2月、六代目中村勘九郎の長男である波野七緒八が三代目中村勘太郎、次男の波野哲之が二代目中村長三郎を名乗り「門出二人桃太郎」にて初舞台を勤めることとなった。初舞台に先立ち、勘九郎の胸に去来した二人の子どもたちに歌舞伎の原点をしっかりと伝えねばならないという思いと、以前から考えていた歌舞伎ができる社会貢献、地方創生への思い。

もともと田植え、稲刈りなどの農耕が芸能の原点。娯楽に乏しかった当時の農村では、自らが役者となり舞台にあがる“農村歌舞伎”が盛んになったという歴史もあった。

勘九郎は初舞台を控えた二人の息子に、歌舞伎隆盛の一翼を担ってきた“農村歌舞伎”と、それを支えてきた人々の心や農村の空気にふれ、田植えや稲刈りの体験をさせることで歌舞伎と中村屋の魂を伝えたいと思う。

そこで、2008年「信州・まつもと大歌舞伎」の開催から縁が深く、勘三郎も愛した地、長野県松本市に協力を得て、田植えや稲刈りそのものを「信州・まつもと大歌舞伎」にひけをとらない一大イベントにするため、田んぼアートとしての開催にいたった。

プロジェクトリーダーに永島敏行氏



「田んぼアート」のプロジェクトリーダーは十八代目中村勘三郎の友人である、俳優の永島敏行氏。1993年、秋田十文字町（現横手市）で初めて米作りを体験、その後20年以上にわたり米作りを継続。農林水産省「食と地域の絆づくり」「地域食品ブランド確立委員会」「地域食品ブランド表示基準専門委員会」の有識者会議委員を歴任した。今回は、

永島氏にはイベントの推進役として、さらには田植えから水田の管理、そして刈取りと田んぼアートの設計計画も委ねる。

展望台周辺でマルシェを開催



田んぼアート期間中、来場者に向けた地域の野菜・特産物の販売やご当地グルメなどのPR及び販売を行います。

田んぼアート 開催スケジュール

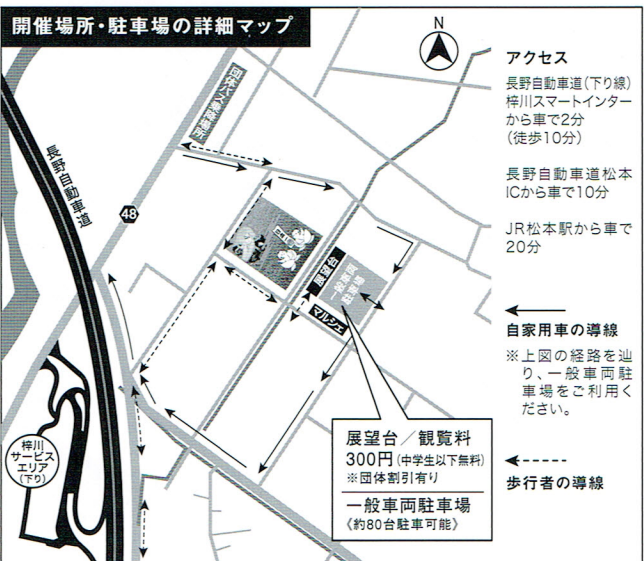
(5月29日 14時から田植え)※雨天決行 (稲刈り予定)

平成28年 **6月15日～9月下旬**

営業時間：9時～18時

展望台／観覧料：1回／300円(中学生以下無料) ※団体割引有り(団体：20人以上は250円/人)

5月	6月	7月	8月	9月
★	田んぼアート鑑賞期間(6月15日～9月下旬)			
5月29日(日) 田植え			信州・まつもと大歌舞伎 《7月11日(月)～17日(日)》	9月下旬 稲刈り



本イベントにおいて育てたお米、お米を使ったお酒を数量限定で販売予定

受注開始は10月予定、販売は12月予定
詳細は追ってお知らせ致します。

f <https://www.facebook.com/tanboart/>



主催／田んぼアート実行委員会、まつもと歌舞伎実行委員会
協賛／みずほ銀行、アサヒ飲料

協力／フジテレビジョン、トップシーン、サンライズプロモーション東京、松竹
企画／ファーンウッド、ファーンウッド 21